

経済科学研究所活動報告

平成23～24年度

日本大学経済学部

経済科学研究所案内

## 目次

はしがき	.....	2
歴代所長	.....	3
研究活動	.....	3
共同研究		
研究会の開催	.....	5
刊行物		
紀要	.....	10

はしがき

日本大学経済学部経済科学研究所の前身である日本大学経済科学研究所は、1944年に設立されたが、経済学部の付置研究機関として本格的な活動を開始したのは1970年代以降と  
いってよいであろう。それ以来一貫して、経済学およびこれに関連する分野について広く  
調査研究することにより学術の発展に寄与するという目的を達成すべく、研究所運営委員  
会の陣容を整えながら、研究活動の活性化を図ってきた。現在、本研究所の研究活動とし  
ては、講演会の開催、ワーキング・ペーパーの発行、研究叢書の出版、共同研究の運営な  
どが挙げられる。まず、講演会は、毎年、経済状況に鑑みた「統一テーマ」を決定し、そ  
のテーマに係わる第一級の研究者を講師に招いて、研究者ばかりでなく、大学院生・学部  
生、さらには地域の方々を対象に開催している。この講演会の内容は、『経科研レポート』  
という冊子にまとめ公刊している。また、ワーキング・ペーパーは、2002年度に最初に発  
行されて以来、専任教員を中心に投稿されている。さらに、共同研究の成果や学術的価値  
の高い成果を研究叢書として出版することのできる体制も整えている。

そして1974年に開始された共同研究の運営は、本研究所の活動のひとつの重要な柱とな  
っている。毎年、本学の専任教員を核に国内外の研究者からなる複数の研究チームが編成  
され、変化の激しい経済状況を考慮した、先端的あるいは学際的テーマに取り組んでいる。  
各チームは、2年にわたって研究費の補助を受けながら研究を進め、その後本研究所での研  
究報告（報告内容は『経科研レポート』に掲載）ならびに学会発表を行って研究水準を一  
層高め、最終的にはその成果を本研究所の機関誌である『紀要』に取りまとめている。な  
お、『紀要』ばかりでなく、『経科研レポート』ならびにワーキング・ペーパーも、インタ  
ーネットから自由に閲覧することができるようになっていることを付言しておきたい。

このような本研究所の活動に対して、日本私立学校振興共済事業団の対象事業として、  
同財団より毎年特別補助が与えられている。

本研究所の研究情報の蓄積は、量・質とも相当な程度となった。それらを整理して本冊  
子に掲載することとした。皆様の一助となれば幸甚である。

2013年3月

日本大学経済学部研究所  
所長 齋藤宏之

## 歴代所長

中島 善太	2004年4月1日 ~ 2009年3月31日
山本 拓	2009年4月1日 ~ 2010年3月31日
齋藤 宏之	2010年4月1日 ~ 2014年3月

## 研究活動

### ◎共同研究

2012年4月～2014年3月（共同研究A）

「高度情報化社会における公共的消費者情報についての研究」

- 江上 哲（日本大学経済学部教授）
- 大澤 秀雄（日本大学経済学部教授）
- 木立 真直（中央大学商学部教授）
- 武市三智子（東洋大学総合情報学部准教授）
- 中西 大輔（日本大学経済学部非常勤講師）
- 河田 裕也（日本大学大学院経済学部研究科博士課程後期）

2012年4月～2014年3月（共同研究B）

「経済および経営問題における数理・確立モデルの解析」

- 大澤 秀雄（日本大学経済学部教授）
- 中村 正彰（日本大学理工学部教授）
- 土井 誠（東海大学理学部教授）

2013年4月～2015年3月（共同研究A）

「少子高齢化時代における，不動産市場の流動性の検討と，効率的な社会構築のための施策の検討」

浅田 義久（日本大学経済学部教授）

山崎 福寿（日本大学経済学部教授）

中川 雅之（日本大学経済学部教授）

瀬下 博之（専修大学商学部教授）

宅間 文夫（明海大学不動産学部准教授）

2013年4月～2015年3月（共同研究B）

「社会活動における「協働」と自主的参加メカニズムの検討—食料市場，エネルギー市場，対人社会サービス市場を素材にして」

根本志保子（日本大学経済学部准教授）

沼尾 波子（日本大学経済学部教授）

## 研究会の開催

2007年度

(159) 2007年7月25日

国際化を迫られるわが国の会計基準 – 国際会計基準とわが国企業の将来

今福 愛志 (日本大学経済学部教授)

(160) 2007年11月7日

サブプライムローン問題における格付会社 (機関) の責任

黒沢 義孝 (日本大学経済学部教授)

(161) 2007年11月17日

アメリカにおける規制緩和後の産業構造の変化

加藤 一誠 (日本大学経済学部教授)

黒沢 義孝 (日本大学経済学部教授)

井尻 直彦 (日本大学経済学部准教授)

三井 秀俊 (日本大学経済学部准教授)

村上 英樹 (神戸大学大学院経営学研究科准教授)

(162) 2007年11月24日

わが国の公的年金制度へのマネジメントからの接近

今福 愛志 (日本大学経済学部教授)

小棚 治宣 (日本大学経済学部教授)

藤野 雅史 (日本大学経済学部准教授)

宮里 尚三 (日本大学経済学部専任講師)

小野 正昭 (みずほ年金研究所研究理事)

(163) 2007年11月28日

BIS規制とBIS

吉國 眞一 (みずほフィナンシャルグループ新光証券株式会社  
シニアアドバイザー)

\*第159回～第163回は、経科研レポートNo.33(2008.3)に収録

2008年度

(164) 2008年7月10日

最近のメディア分野における課題

菅谷 実 (慶応義塾大学 メディア・コミュニケーション研究所  
教授)

(165) 2008年10月18日

中国の経済発展と産業集積に関する開発経済学・空間経済学・国際経済学の観点か  
らの融合的研究

辻 忠博 (日本大学経済学部准教授)

本多 光雄 (日本大学経済学部教授)

呉 逸良 (日本大学経済学部准教授)

井尻 直彦 (日本大学経済学部准教授)

陸 亦群 (日本大学通信教育部専任講師)

(166) 2008年10月25日

日本の証券市場におけるマイクロ・ストラクチャーの分析

三井 秀俊 (日本大学経済学部准教授)

竹内 明香 (一橋大学大学院博士課程在学中)

(167) 2008年12月6日

経済の変化とその対応

塚本 隆夫 (日本大学経済学部教授)  
藤本 訓利 (日本大学経済学部教授)  
植木 恒幸 (日本大学経済学部教授)  
齋藤 宏之 (日本大学経済学部教授)  
三宅 忠和 (日本大学経済学部教授)  
藤井 盛夫 (日本大学経済学部准教授)  
有馬 守康 (日本大学経済学部専任講師)  
石田 教子 (日本大学経済学部助教)  
高橋 宏幸 (日本大学大学院経済学研究科博士後期)

\* 第164回～第167回は、経科研レポートNo.34(2009.3)に収録

2009年度

(168) 2009年6月20日

契約と情報の経済分析

小林 信治 (日本大学経済学部教授)  
大庭 繁美 (日本大学大学院経済学研究科博士後期課程)

(169) 2009年9月3日

農山村地域における森林を取り巻く行財政システムに関する研究

沼尾 波子 (日本大学経済学部教授)  
山本 伸幸 (森林総合研究所関西支所地域林業経済担当チーフ長)  
石崎 涼子 (森林総合研究所主任研究員)  
都築 伸行 (森林総合研究所主任研究員)

(170) 2009年10月28日

金融危機と今後の金融システムの動向

刈屋 武昭 (明治大学ビジネススクールグローバルビジネス研究科  
長・教授)

(171) 2009年11月25日

90年代における日本経済の停滞と構造変化に関する実証的分析及び日本経済シ  
ステム再構築に関する政策的な提言

—資源配分メカニズム中心に—

竹中 康治 (日本大学経済学部教授)

権 赫旭 (日本大学経済学部准教授)

(172) 2009年11月26日

日本の医療保険改革

田近 栄治 (一橋大学副学長・大学院経済学研究科教授)

\* 第168回～第172回は、経科研レポートNo.35(2010.3)に収録

2010年度

(173) 2010年6月19日

ネットワーク産業における標準化と互換性

大場 允晶 日本大学経済学部教授

大宮 望 コニカミノルタ情報システム株式会社部長

中邨 良樹 日本大学経済学部准教授

丸山 友希夫 社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム特別研究職員

(174) 2010年10月16日

グローバル時代の生産組織

鳥居 昭夫 横浜国立大学経営学部教授

(175) 2010年11月20日

新シルクロード地域の経済発展に関する研究

呉 逸良 日本大学経済学部准教授

辻 忠博 日本大学経済学部教授

陸 亦群 日本大学通信教育部准教授

前野 高章 日本大学経済学部助手

(176) 2010年11月27日

小売業のグローバル化の要因分析と生産性に与える効果

曾根 康雄 日本大学経済学部准教授

乾 友彦 内閣府経済社会総合研究所 上席主任研究官・日本大学経済学部教授

権 赫旭 日本大学経済学部准教授

横井 のり枝 財団法人 流通経済研究所研究員

(177) 2010年12月2日

子どもの貧困—すべての子どもの幸せのために—

阿部 彩 国立社会保障・人口問題研究所

\* 第173回～第177回は、経科研レポートNo.36(2011.3)に収録

刊行物

「紀要」

第38号 (2008.3)

論文

わが国の公的年金制度へのマネジメントからの接近—その方法と視点—

今福 愛志 (日本大学経済学部教授)

年金積立金の管理・運用主体におけるマネジメント問題

—管理運用法人のアカウントビリティ制度を踏まえて—

藤野 雅史 (日本大学経済学部准教授)

スウェーデンの自動均衡機能の日本への適用

小野 正昭 (みずほ年金研究所研究理事)

基礎年金に関する史的考察

—日独の基礎年金プランを中心として—

小柳 治宣 (日本大学経済学部教授)

Public Pension Reform and Uncertainty

宮里 尚三 (日本大学経済学部准教授)

グラビティモデルによるアメリカの航空輸送流動量の分析

井尻 直彦 (日本大学経済学部准教授)

日本のLCC市場における競争分析：米国LCCの事例を参考に

村上 英樹 (神戸大学大学院経営学研究科准教授)

アメリカの空港格付けの現状と格付け手法

黒沢 義孝 (日本大学経済学部教授)

アメリカにおける空港債による資金調達

加藤 一誠 (日本大学経済学部教授)

ARCH型モデルによる規制緩和・規制強化による金融市場の構造変化の検証法

三井 秀俊 (日本大学経済学部准教授)

第39号 (2009.3)

W.C. ミッチェルの集計的研究手法——G. ホジソンの所説の検討——

塚本 隆夫 (日本大学経済学部教授)

労働者行動と賃金率の硬直性

—公正賃金率仮説と行動経済学に基づくミクロ的基礎—

植木 恒幸 (日本大学経済学部教授)

Thorstein Veblen's Critique of Irving Fisher's Economics

齋藤 宏之 (日本大学経済学部教授)

マーシャルとイギリスの産業組織論の形成

三宅 忠和 (日本大学経済学部教授)

スラッフア体系への道程

藤井 盛夫 (日本大学経済学部教授)

デジタル機器産業、デジタルコンテンツ産業と消費者の構造的関連性：

消費者の保有する情報の私有化と共有化の選択に関する考察

有馬 守康（日本大学経済学部専任講師）

進化思想とヴェブレンの経済学構想—近年の諸研究に関するサーベイ—

石田 教子（日本大学経済学部助手）

ソースタイン・ヴェブレンの本能論の展開

高橋 宏幸（日本大学大学院経済学研究科博士後期課程）

新シルクロード地域における「ビーズ型」開発戦略を通じた経済発展の  
可能性について

辻 忠博（日本大学経済学部教授）

東アジア3国と中央アジアの関係—ユーラシアン・ランド・ブリッジへの模索—

本多 光雄（日本大学経済学部教授）

新シルクロードにおける「ビーズ型」都市形成およびそのプロセス

呉 逸良（日本大学経済学部准教授）

中央アジアの海外直接投資の立地要因分析

井尻 直彦（日本大学経済学部准教授）

新シルクロードの地域経済発展と『ビーズ型』開発戦略

陸 亦群（日本大学通信教育部准教授）

ボラティリティ変動モデルによるオプション評価の実証研究

三井 秀俊（日本大学経済学部准教授）

月次パネルデータを使用した日本とアメリカのコールオプション価格差の

比較分析

竹内 明香 (早稲田大学大学院商学研究科助教)

第40号 (2010.3)

Optional Contracts with Cost Padding and Auditing

Shinji Kobayashi (日本大学経済学部教授)

調達契約と最適産業構造

大庭 繁美 (日本大学大学院経済学研究科博士課程後期課程)

わが国乗用車産業における推測的変動の推定

竹中 康治 (日本大学経済学部教授)

グローバル化が日本の地域の雇用にもたらす影響

乾 友彦 (内閣府経済社会総合研究所 上席主任研究官・日本大学経済学部教授)

資金調達と企業の生産性上昇：日本企業データによる実証分析

権 赫旭 (日本大学経済学部准教授)

債権者間の協調の失敗とクレジット・ランに関する理論的構造

豊福 建太 (日本大学経済学部准教授)

森林・林業政策における国と地方自治体

石崎 涼子（森林総合研究所主任研究員）

自治体の独自課税を通じた森林保全の財源調達とその課題

—「かながわ水源環境保全税」の事例を中心に—

沼尾 波子（日本大学経済学部教授）

森林組合の森林・林業政策における役割と事業展開

都築 伸行（森林総合研究所主任研究員）

フィンランドにおける林業所得税制改革

山本 伸幸（森林総合研究所関西支所チーム長）

第41号（2011.3）

Network Externalities, Compatibility, and Product Differentiation

Shinji Kobayasi（日本大学経済学部教授）

The Study of Project Transfer Information to System Engineers:  
A Model Building

Yoshiki Nakamura（日本大学経済学部准教授）

情報システム開発における設計工程への標準化導入事例

大宮 望（コミカミノルタ情報システム株式会社部長）

情報システムの保守工程におけるデータ分析

山本 久志（首都大学東京システムデザイン学部教授）

情報システム開発における標準化の発展

—設計部品リポジトリを利用したシステム構築および応用—

丸山 友希夫 (社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム)

中国のソフトウェア企業のオフショア開発を進めていくうえでの現状と課題

大場 充晶 (日本大学経済学部教授)

ホルゴスは中国西部の深圳になるか

呉 逸良 (日本大学経済学部准教授)

新シルクロードにおけるコーカサス地域の役割

本多 光雄 (日本大学経済学部教授)

中央アジアにおける経済発展の可能性

—ダイナミック・キャッチアップ・モデルの観点から—

辻 忠博 (日本大学経済学部教授)

中国の国内航空輸送流動量の決定要因分

井尻 直彦 (日本大学経済学部准教授)

東アジア新興国の経験とダイナミックキャッチアップ・モデル

陸 亦群 (日本大学通信教育部准教授)

中央アジア諸国の貿易構造と輸出決定要因分析

前野 高章 (日本大学経済学部助手)

中国の小売業のグローバル化—対外開放の成果と展望—

曾根 康雄 (日本大学経済学部准教授)

日本企業の海外進出が国内企業のパフォーマンスに与える影響  
—業種別、投資先国、投資タイプ別の分析—

乾 友彦 (内閣府経済社会総合研究所 上席主任研究官・日本大学経済学部教授)

日米の産業別データによる労働生産性の国際比較分析

権 赫旭 (日本大学経済学部准教授)

流通業のアジア進出が現地に与える生産性効果への考察  
—ケーススタディを中心として—

横井 のり枝 (財団法人 流通経済研究所研究員)